



「中立えこ通信」

～地域ではじめようエコ生活～ Vol. 05



2025年3月31日 発行：中立エコ生活推進会議

令和6年度(第22回)京都環境賞特別賞(エコ学区賞)受賞



表彰式

令和6年度(第22回)京都環境賞に応募し、『特別賞・エコ学区賞』を受賞し、2月17日に京都市役所で開催された表彰式に岡田精史副議長が出席し、松井市長から表彰状をいただきました。

今回の受賞は、『地域の子どもたちが参画する「探究団」を発足し、同会議が、探究団の活動の場を提供、サポートしている。堀川清掃や地域イベントに参加したり、同会議や京エコロジーセンターから事前学習を受けた子どもたちが、講師役を務め、子ども同士が仲間目線で伝えることで、環境学習のハードルが低くなり、知識や技能が深まるなど、子どもたちの環境意識が向上した。』という活動に対するものです。

3月2日には、『新町っこ探究団』の子どもたちが中立会館に集まり、今回の受賞を祝いました。

今回の賞をいただけたことは、私たちにとっても大きな励みになりました。今後も持続可能な社会の実現に向けて活動を続けていく所存です。多くの皆さんの関心とご協力をお願いいたします。



新町っこ探究団と一緒に

新町っこ探究団の歩み

1 新町っこ探究団とは

新町小学校の5,6年生を対象に、地域活動を主体的に行うことを目的として、令和3年7月に発足しました。(活動は中学3年生まで継続できます。)

活動時には、右の帽子を着用しています。

コロナ禍の時期を除き活発な活動を続けてきましたが、早いもので、この3月で第1期生が中学校を卒業しました。



2 新町っこ探究団のこれまでの活動

新町っこ探究団の活動を写真で紹介します。



新町小学校で剪定作業のお手伝い



堀川清掃



苑西マルシェでロケットストーブで焼き芋作り



中立ふれあい広場エコブースのお手伝い



上京こどもまつり ミニ新幹線乗車のお手伝い



ミニえこ通信パネル展

3 新町っこ探究団に参加して

○新町っこ探究団をやりはじめてから、地域の皆さんとの関わりが増えた。エコ活動や掃除などは、始めるきっかけが難しいと思うが、自分たちの活動を紹介することで、そのきっかけになればいいと思う。

○地球温暖化とかの国際問題に少しでも貢献したいと思い参加した。

○堀川清掃やエコブースのお手伝いを通じて、地球温暖化などの対策に貢献でき、参加してよかったと思う。

○堀川清掃とかを実際に行ってみると、思っていたよりもゴミが多いことを知ることができた。また、それを綺麗にすることにより、環境に良いことができることを実感できたので、多くの人にそれを知ってもらい、参加してもらえたら嬉しい。

○地域の野球クラブに所属し野球をすることができたので、地域の皆さんに恩返しができたらと思い参加した。実際に活動に参加する中で、地域の方々との関わりを持つことができ、やりがいもあり、楽しかった。また、知らなかったこともたくさん知ることができた。是非活動に参加してほしい。

○美化活動をすることで、どんどん町が綺麗になると同時に、心が浄化される気がした。また、道には、タバコの吸い殻や割れた食器など、思いのほかゴミが多かった。これは、掃除に参加しなければ気づけないことだった。

下京はぐくみネットワークにて紹介された『新町っこ探究団』のインタビュー動画より



4 最後に

新町っこ探究団の活動は、強制ではなく、自主性を重んじています。その中で、こども達は、上記のインタビューのように、様々なことを学んだり、感じたりしてくれているようです。

また、わたし達の急な提案にも、瞬発力を発揮して想像以上の結果を出してくれています。それは、こども達の活動が、当初想定していたよりもはるかに広く深く地域の活動に貢献しているという、嬉しい結果に繋がっています。

そして、この活動がきっかけとなり、近い将来、地域の担い手として活動に参加してくれることになれば、こんなに嬉しいことはありません。

堀川ほたるの森へホタルを放流！



手作りの箱



箱内の清掃



ホタルの幼虫



ホタルの放流

3月9日、『京都堀川ほたるプロジェクト』の皆さんと新町小学校4年生のこども達が参加し、『堀川ほたるの森』にホタルを放流しました。

毎年、奈良県山添村から『ゲンジボタル』の幼虫300匹を購入し、この時期に放流されています。

川の流れが急だとホタルが棲息できないため、プロジェクトの皆さんの手により、川の4ヶ所に箱(通称)が作成されています。放流前には、この箱内を清掃し準備されていました。

こども達が揃ったところで、発砲スチロールの中の幼虫を数匹ずつ器に入れ、こども達に渡し、いよいよ放流です。こども達が箱の前に並び、ゆっくりとホタルを箱の中へ移しました。幅が狭かったり、傾斜が急なところは、足元等に十分に気をつけながら、4ヶ所にまんべんなく、300匹全てを無事に放流することができました。

今回参加している4年生は、『わくわく学習』でホタルのことを学んだこども達です。授業で学んだことを実際に体験できた今回のことが、こども達の心に貴重なものとして残ってくれたら嬉しく思います。

放流されたホタルは、主にカワニナをエサとして成長します。川の中で成長したホタルは、4月頃には、上陸を始め、更に、土の中に潜っていきます。土中に潜った幼虫は、蛹室を作り、およそ40日で蛹になります、その10日後ぐらいから羽化し始め、5月末頃から成虫となったゲンジボタルが、ほたるの森を飛び始めます。

放流されたホタルは300匹ですが、食べられたり、バイキンにやられたりして、生き残るのは、多くても3割程度だそうです。それでも、運良く自生したホタルがいるときもあり、驚くほど多くのホタルが飛ぶこともあるそうです。

今回放流したホタル達が無事に生き延び、5月末には、成虫として光り輝くホタルとして、今回参加してくれたこども達と、再び出会うことができることを祈ります。また、これに合わせて開催されている『ほたるの鑑賞会』にも、多くの皆さんのご参加・ご協力をお願いします。



対岸へ渡って放流



参加者全員で記念撮影



持続可能な社会の実現に向けて—令和6年度活動報告—

1 中立えこミニ通信パネル展開催

上京区役所(8/14~8/23)と京エコロジーセンター(9/18~9/24)の2ヶ所で、中立えこミニ通信パネル展を開催しました。

初めての試みで、手探り状態でしたが、新町っこ探究団にお手伝いしていただき、無事に開催することができました。

2021年11月に第1号を発行してから3年以上、ここまで継続できたことに驚きを感じるとともに、実践・体験したことを掲載することができたことで、活動に対する自信も生まれたように思います。

これからも地域の皆さんに関心を持っていただけるように、情報を発信していきたいと思えます。

2 学習会開催

10月22日、中立会館でプラごみ問題学習会を開催しました。講師に「NPOエコネット近畿」の堀孝弘さんをお招きして、「プラスチック問題と、私たちにできる取組〜スーパーマーケット環境調査から見たこと、今後の展開〜」をテーマにお話しをしていただきました。

現在の問題点を学び、わたし達が今すべきことについて考える良い機会になりました。



3 落葉の堆肥化

毎年、堀川清掃で回収した落葉を、タヒロンを用いて堆肥作りを行ってきました。しかし、今年度初めて、堆肥がうまくできませんでした。今まですべて成功していたのですが、気温など、何かいつもと違う要因があったのではないかと思います。自然を相手に行うことは、やはり簡単に考えてはいけないのだと再認識しました。



4 コーヒーかす回収

コーヒーかす回収は、和い輪いカフェ開催時だけでなく、地域の皆さんがご都合の良いときに持ってきていただけるよう、中立会館玄関前南東角に回収ボックスを常設しています。

★一口メモ★「カビ」対策法：コーヒーかすを耐熱皿に入れレンジで2分！ひと手間かけるだけで、コーヒーかすはさらさらになります。更に、電子レンジの庫内の消臭効果もあり一石二鳥です。是非一度お試し下さい。



4 これまでとこれから

当会議では、継続して行っていることがたくさんあります。

2カ月に1度の堀川清掃、えこ通信の発行、太陽光発電による電源利用、和い輪いカフェのマイカップスタンプ進呈、各種行事でのゴミの分別収集、洛芋のグリーンカーテン等です。継続して行うことが何よりも大切だと考えているからです。



ゴミの分別収集

また、令和7年度は、当会議から2名が「京都府地球温暖化防止活動推進員」に就任し、活動の幅を広げていく予定です。推進員として学んだことを皆様に還元できるよう頑張りたいと思えます。

そして、新しいことを提案するために、関係各所と調整しながら鋭意準備中です。もうしばらくお待ちください。

最後になりましたが、これからも、持続可能な社会の実現に向けて、地域の皆さんと手を携えてまいりたいと思えます。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

令和7年度移動式資源物回収の予定

○ まちかど回収

有害・危険ごみを含まない18品目の移動式拠点回収
(年に3回：木曜日午後2時~3時に実施)
日程 1 令和7年5月29日 2 令和7年10月30日
3 令和8年2月12日
場所 何れも上京リサイクルステーション

○ 有害・危険物の回収

有害・危険ごみ(4品目)+まちかど18品目
日時 令和7年7月21日午前9時~11時
場所 上京リサイクルステーション



東部まち美化事務所

エコ学区サポートセンターホームページの中立学区のページで、当推進会議の活動をご覧いただけます。こちらのQRコードよりご確認ください。→



中立えこミニ通信は、「京都市ごみ減量活動支援助成金」を利用して作成しています。